


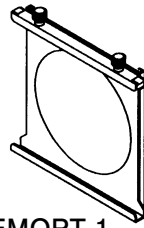
取扱説明書

効果器アダプタ

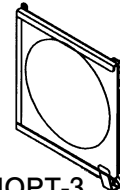
EMOPT

この度は丸茂電機製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。機材を取付・設置・使用される前に、この説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。また、大切に保管していただき、必要に応じてご参照ください。

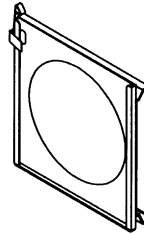
 この製品は舞台・スタジオ用照明機材です。



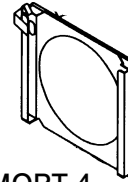
EMOPT-1



EMOPT-3



EMOPT-2



EMOPT-4

定格・仕様

名称	効果器入力アダプタ		効果器出力アダプタ	
	EMOPT-1	EMOPT-2	EMOPT-3	EMOPT-4
型式名称	EMOPT-1	EMOPT-2	EMOPT-3	EMOPT-4
本体材料	鋼板 1.6t	鋼板 2.0t	鋼板 1.6t	鋼板 1.6t
表面仕上	黒塗装			
本体質量	0.8kg	0.9kg	0.5kg	0.5kg
適合灯具	EQS/EMS シリーズ エフェクト スポットライト	EPQ シリーズ プロジェクター スポットライト	-	-
適合マシン	丸茂旧効果器 ※ 1	東芝製効果器 ※ 2 丸茂新効果器 ※ 3	丸茂旧効果器 ※ 1	東芝製効果器 ※ 2 丸茂新効果器 ※ 3
適合 オブジェクティブレンズ /オブジェクトユニット	-	-	OL シリーズ オブジェクティブレンズ OL-S シリーズ 精密オブジェクティブレンズ	SDA/SDZ シリーズ オブジェクトユニット

※ 1：丸茂旧効果器とは、以下のものを指します。

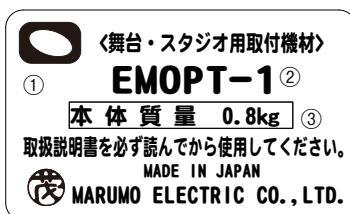
VS-L、VS-H、NC-L、NC-H、RP、MCCI、MCCII、MADI

※ 2：東芝製効果器とは、以下のものを指します。

EDM、EDM-A、EDM-CU、ETM-A、EFM、EFM-A、ESM、ESM-A、ESC-1、ESC-1F-2

※ 3：丸茂新効果器とは、EPD2-1000W、EPD3-1000W、NCD2、NCD3、VSD2、VSD3、MCCD-2、SDD シリーズ、SDD2 シリーズ

機器名板の解説



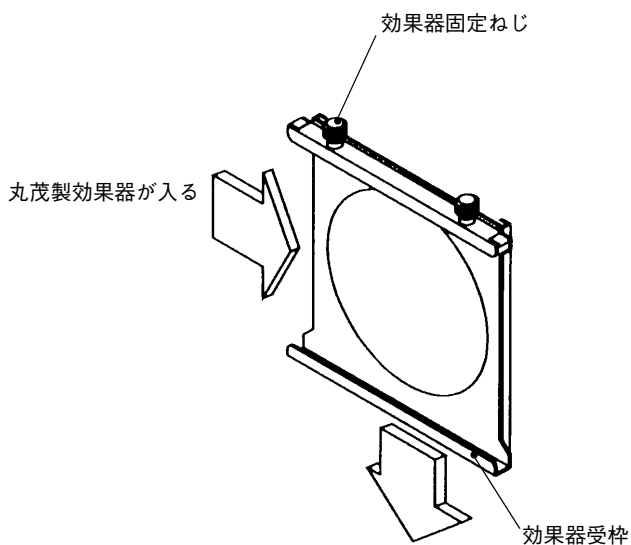
- ① 舞台・スタジオ用照明機材を表すマークです。
- ② 型式名称：照明機材の型式名称を表示しています。
- ③ 上本体質量：照明機材本体の質量を表示しています。



MARUMO ELECTRIC CO., LTD.

各部の名称と使用方法 -1

● EMOPT-1



EQS/EMS シリーズ、EPD シリーズ
エフェクトスポットライトへ差し込む

●使用方法

EQS/EMS シリーズエフェクトスポットライトおよび、EPD シリーズに丸茂製旧効果器を取り付ける際に用います。

●エフェクトスポットライトへの装着方法

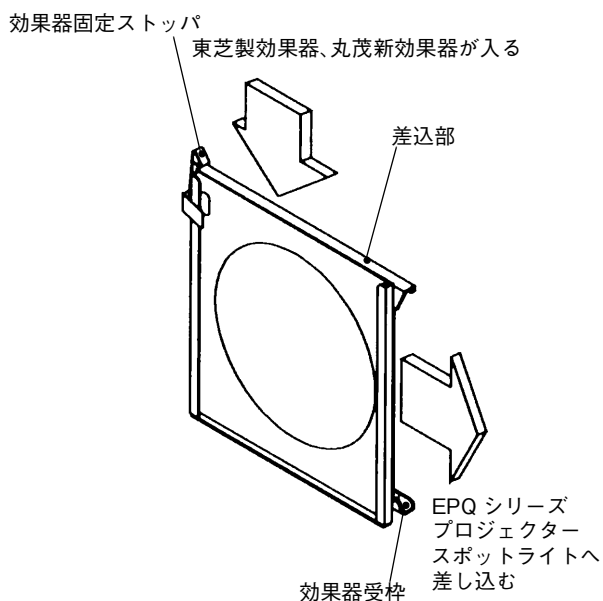
1. エフェクトスポットライトのエフェクトマシンストップパを解除の方向に押しながらアダプタの差込部を上から差し入れてください。
2. エフェクトマシンストップパがロックされたことを確認してください。

●丸茂製効果器の取り付け方法

1. 効果器受枠に効果器の差込部を側面から入れてください。両側面から差し入れることができます。
2. 光軸を合わせ、効果器固定ねじを確実に締めてください。

※別途、取り付けるスポットライトおよび効果器の取扱説明書も参照してください。

● EMOPT-2



●使用方法

EPQ シリーズプロジェクタースポットライトに東芝製効果器および丸茂新効果器を取り付ける際に用います。

●プロジェクタースポットライトへの装着方法

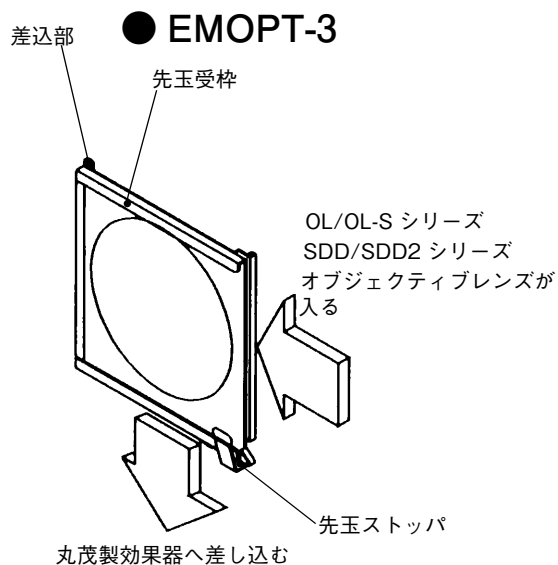
1. プロジェクタースポットライトの効果器受枠にアダプタの差込部を側面から入れてください。両側面から差し入れることができます。
2. 光軸に合わせ、プロジェクタースポットライトの効果器固定ねじを確実に締めてください。

●東芝製効果器の取り付け方法

効果器受枠の効果器ストップパを外側に引き、効果器の差込部を上から差し入れてください。効果器は効果器ストップパにより自動的にロックします。

※別途、取り付けるスポットライトおよび効果器の取扱説明書も参照してください。

各部の名称と使用方法 -2



●使用方法
丸茂製効果器に OL シリーズまたは OL-S シリーズのオブジェクティブレンズおよび SDD シリーズまたは SDD2 シリーズのオブジェクティブレンズを取り付ける際に用います。

●丸茂製効果器への装着方法

1. 丸茂製効果器の先玉受枠に差込部を上から差し入込んでください。
2. 効果器の固定金具またはストッパで、アダプタを確実に固定してください。

●OL シリーズ、OL-S シリーズの取り付け方法

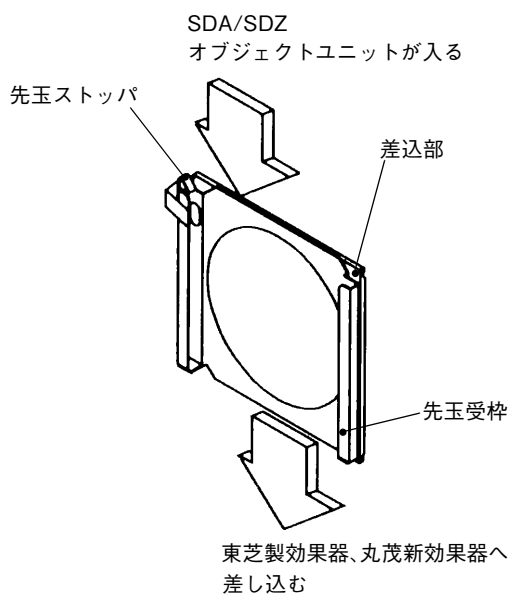
アダプタの先玉ストップを下側に引き、オブジェクティブレンズの差込部を右側から差し入れてください。オブジェクティブレンズは先玉ストップにより自動的にロックされます。

※オブジェクティブレンズは、90° 横向きの状態で取り付けます。

※別途、取り付けるスポットライトおよび効果器の取扱説明書も参照してください。

※ SDD3 シリーズは、直接丸茂旧効果器へ差し込むことができますので、EMOPT-3 は使用できません。

● EMOPT-4



●使用方法

東芝製効果器に SDA/SDZ シリーズのオブジェクトユニットを取り付ける際に用います。

●東芝製効果器への装着方法

1. 東芝製効果器、丸茂新効果器の先玉受枠に差込部を上から差し込んでください。
2. 効果器の固定金具またはストッパで、アダプタを確実に固定してください。

●SDA/SDZ シリーズの取り付け方法

アダプタの先玉ストップを外側に引き、オブジェクトユニットの差込部を上から差し入れてください。オブジェクトユニットは先玉ストップにより自動的にロックされます。

※別途、取り付けるスポットライトおよび効果器の取扱説明書も参照してください。

システムズ

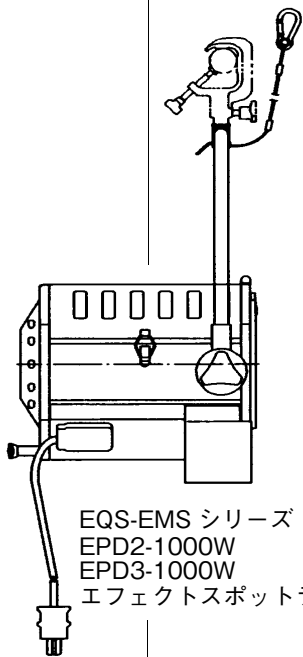
光源

入力アダプタ

マシン類

出力アダプタ

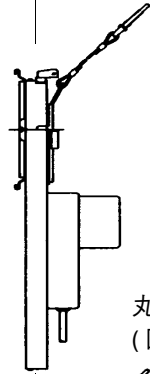
オブジェクティブレンズ
／オブジェクトユニット



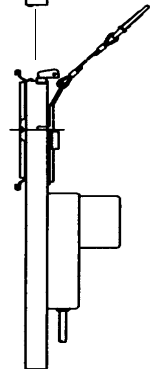
EQS-EMS シリーズ
EPD2-1000W
EPD3-1000W
エフェクトスポットライト



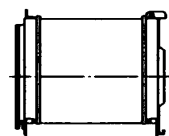
EMOPT-1



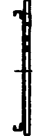
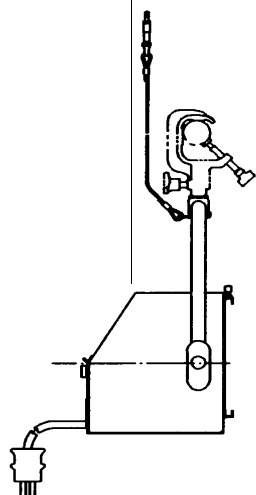
丸茂製効果器
(図は VS-L)



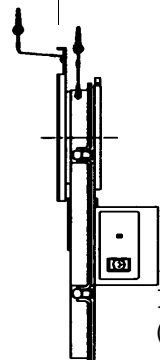
EMOPT-3



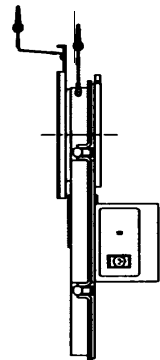
OL シリーズ
オブジェクティブレンズ
OL-S シリーズ
精密オブジェクティブレンズ



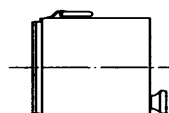
EMOPT-2



東芝製効果器、丸茂新効果器
(図は EDM-A)








EMOPT-4



SDA・SDZ シリーズ
オブジェクトユニット

安全にご使用いただくために

	警告	警告：取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または負傷を負う可能性が想定される場合や、軽傷または物的損害の発生する頻度が高い場合に用いています。
		●この機材は演出空間用の照明機材です。舞台・スタジオなどの演出空間の用途以外には使用しないでください。一般用照明機材として使用する製品ではありません。
		●機材の使用角度範囲に制限のある機材があります。本体表示および取扱説明書に従って使用してください。使用角度範囲を超えて使用すると、落下の原因となります。 ●オブジェクトユニットは適合品を使用し、取付は取扱説明書に従って確実に行ってください。不適合品の使用や取付の不備は機材の破損や、物的損害、けがの原因となります。
		●機材を分解したり改造したりしないでください。 落下・故障・感電・火災の原因となります。

	注意	注意：取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合や、物的損害のみの発生する頻度が高い場合に用いています。
---	-----------	--

<p>屋内の製品です。</p> <p>●この機材は屋内用の製品です。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、さびなどによる機能劣化の原因となります。</p> <p>取扱説明書をお読みください。</p> <p>●機材の取り付け・設置・使用前に必ず取扱説明書または注意書を良くお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用してください。</p> <p>取り扱いは専門家が行ってください。</p> <p>●機材の取り付け・設置・取り扱い・使用前の準備・点検・整備の作業は「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟練者だけの対応は事故をまねくおそれがあります。</p> <p>取り付け・設置時の注意</p> <p>●機材の取り付け・設置には方向性があります。指定以外の取付を行うと機材が落下し、物的損害やけがの原因になります。</p> <p>使用時の注意</p> <p>●湿気や水気、埃の多いところでは使用しないでください。さびなどによる機能劣化の原因となることがあります。また、埃や紙吹雪が付着したまま使用しないでください。火災の原因となります。</p> <p>保管について</p> <p>●埃の多い場所や湿度の高い場所での保管は避けてください。さびなどによる機能劣化の原因となります。</p>	<p>●再使用するときは点検を行ってから使用してください。故障の原因となるおそれがあります。</p> <p>保守点検について</p> <p>●交換部品は、当社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。指定外の取り扱いは機材の機能劣化・火災をまねくおそれがあります。</p> <p>●地震などの天災の後は、使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が必ず点検を行ってください。未熟練者だけの対応は事故をまねくおそれがあります。</p> <p>点検と修理</p> <p>●本製品および部品の寿命は、使用頻度、設置環境、取扱状態、保守管理状態によって異なります。性能および安全性の確保のため、正しい維持管理を行ってください。また日常点検を実施し、点検の結果に従ってそれぞれの処置をとってください。</p> <p>●使用期間における経年変化、または使用状況によっては部品の消耗・劣化や絶縁性能の低下がありますので、専門技術者による定期点検をおすすめします。定期点検保守契約については、当社にお問い合わせください。</p> <p>●補修用部品の最低保有期間は8年です。</p>
---	--

エフェクトマシンの日常点検項目および処置

分類	点検項目	日常点検				メーカー修理依頼
		清掃	増締め	交換	その他	
本体	本体差込部、効果器受枠、先玉受枠、差込部、その他の本体各部に異常変形や損傷がないか。					○
	効果器ストップ、先玉ストップに損傷がなく、確実に固定できるか。					○
	塵埃や紙吹雪など付着していないか。	○				

丸茂電機株式会社

●本社・営業部	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24	TEL.(03)3252-0321
●大阪営業所	〒530-0047 大阪市北区西天満4-11-23(満電ビル)	TEL.(06)6312-1913
●名古屋営業所	〒461-0008 名古屋市東区武平町5-1(名古屋栄ビルディング)	TEL.(052)951-7425
●福岡営業所	〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-45(Q'iz TENJIN)	TEL.(092)741-4762
●広島営業所	〒730-0022 広島市中区銀山町1-11(フジスカイビル)	TEL.(082)249-6400
●札幌営業所	〒060-0061 札幌市中央区南一条西7-12(都市ビル)	TEL.(011)261-0321
●仙台営業所	〒980-0802 仙台市青葉区二日町3-10(グラン・シャリオビル)	TEL.(022)263-0221
●沖縄出張所	〒902-0067 沖縄県那覇市安里2-6-23(インベリアルハイム喜納1308)	TEL.(022)263-0221